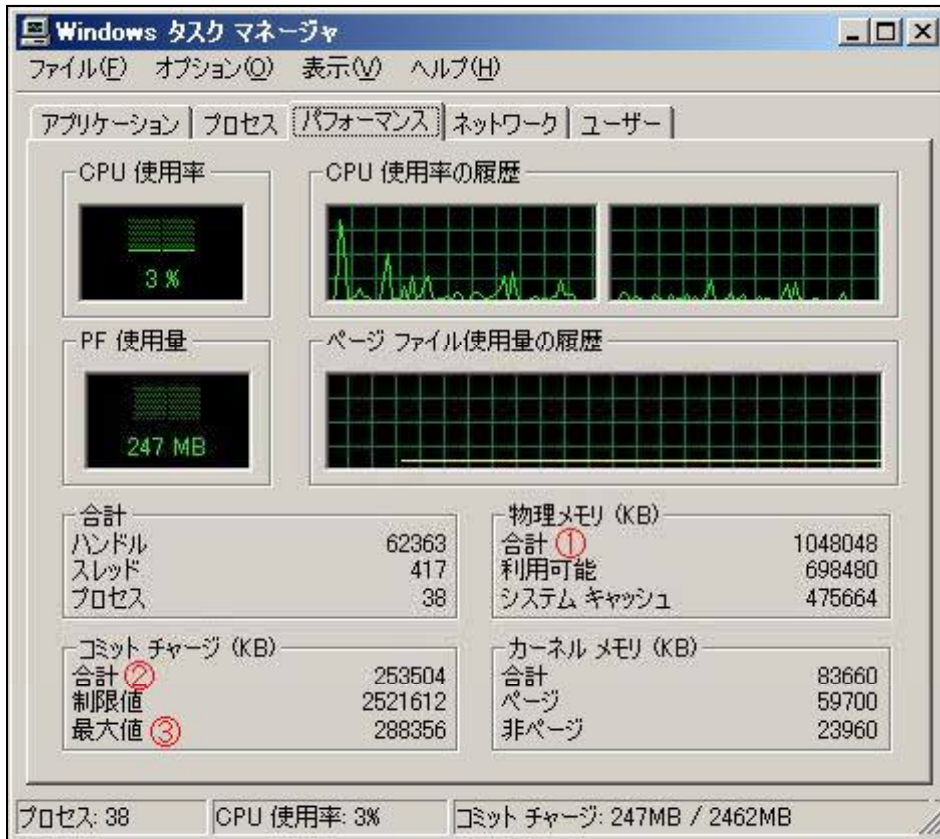


メモリの診断と増設

Windowsが動作する時の作業スペースとなるのがメモリです。十分な作業スペースが確保されていれば快適に、不足していれば作業効率は落ちることになります。メモリ不足は、メモリを増設しなければ改善されない場合もあればメモリの設定で改善されることもあります。パソコンのメモリが十分足りているかどうか、増設が必要かどうか判断しパソコンを快適に使いましょう。

Windows XPでは、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押すことで「タスクマネージャ」が開き、この中の「パフォーマンス」タブでメモリの使用状況を確認できます。



物理メモリ・合計

「物理メモリ」の「合計」はパソコンに搭載されている物理メモリのサイズです。「利用可能」は現在使用可能な物理メモリのサイズで、この値が少ないとパフォーマンスは低下します。**頻繁に4096KB未満になるようなら物理メモリ不足**ですので、メモリ増設を検討しましょう。

コミットチャージ・合計

XPには自動的にハードディスク上へ「ページングファイル」といわれるファイルを作成し、それをメモリの一部のように扱う、仮想メモリという仕組みがあります。「コミットチャージ」の「合計」は、現在使用中の仮想メモリのサイズで、「PF使用量」のグラフと同じ値です。**これが「物理メモリ」の「利用可能」よりも大きいようならメモリ不足**です。この状態は物理メモリで足りない分を低速なページングファイルで補っているので動作は遅くなります。

コミットチャージ・最大値

「コミットチャージ」の「最大値」は電源を入れてから今までに使用した最大仮想メモリのサイズです。「コミットチャージ」の「制限値」よりも小さければ動作は安定しますが、それよりも大きくなるとパフォーマンスは低下します。**頻繁に「最大値」が「制限値」を超えるようであればメモリ増設を検討した方が良いでしょう。**